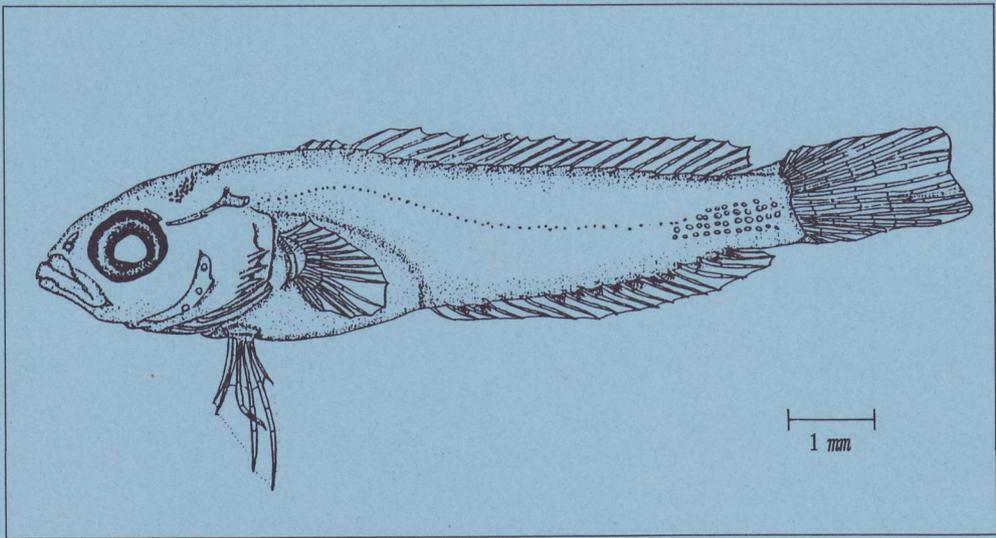


ISSN 0912—0114

南予生物

Vol.1 No.2 1986



南予生物研究会

— 表紙 —

トラギス属の稚魚

本図は全長約10mm位のトラギス属の稚魚である。この図は、土佐湾で採集した標本をスケッチしたものである。各ひれの鱗条数は、ほぼ成魚と同じになっているが、まだ成魚の形態検索では種まで同定できなかった。

ところで、宇和海には、現在、トラギス・コウライトラギス・クラカケトラギス・コクテントラギス・ユウダチトラギスの5種がいる。このうちごく浅い所では、トラギス・コウライトラギスの2種をよく観察できる。まず、前者は水深6m位より深い細砂の低質に住み、後者はより浅い小転石帯にいることが常であり、全くの砂帯にはほとんど見られない。このように近縁な両種がすみわけを行っているのを簡単に野外で見ることができる。

その他、コウライトラギスでは、成長に伴い性転換をおこなうことが知られているなど、面白い生態をもつ魚である。

(平松)